

さまざまな犯罪被害

みなさんは「犯罪被害」というと、ニュースで報道されることの多い殺人・傷害の事件の被害者を思い浮かべるかもしれません。もちろん、そういった事件の被害者は事件の影響で心に大きな傷を受けています。一方で、テレビのニュースに出てくるような犯罪以外にも犯罪はあり、その被害にあった人が存在します。たとえば、日本で起きた事件の数が一番多い犯罪は窃盗ですが、自分のお金やものを盗まれた人も被害者です。ほかにも、放火や詐欺（人をだましてお金や物を盗むこと）などがあり、それらの犯罪にも被害にあった人がいて、事件で大変なショックを受けているのです。

犯罪の被害にあうということは、テレビのニュースに出てくるような犯罪にあった人たちだけではありません。みなさんの周囲にも、犯罪被害にあって苦しんでいる被害者がいるかもしれないのです。

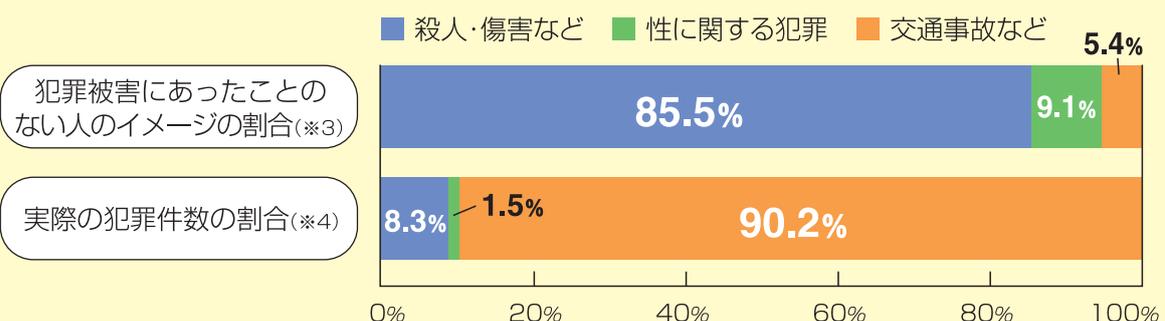


交通事故の被害者について

交通事故の被害者も、犯罪の被害者です。交通事故に巻きこまれた多くの被害者は、他の犯罪の被害者と同じくらい傷つき、苦しんでいるのです。

犯罪の被害にあったことがない人に、「殺人・傷害などの暴力、交通事故、ちかんなどの性に関する犯罪」の中で、「犯罪の被害者」としてイメージするのは、どんな種類の犯罪ですか？ とたずねました。「殺人・傷害など」と答えた人が85.5%、「性に関する犯罪」と答えた人が9.1%、「交通事故」と答えた人が5.4%の順番になっています。

一方、この3つの犯罪の日本で実際に起きている犯罪件数（※1）の割合は、交通事故が90.2%、殺人・傷害などが8.3%、性に関する犯罪が1.5%（※2）となっています。交通事故による犯罪の被害はイメージしている以上に多く起きていることがわかります。



※1 警察などの捜査機関によって発生が認知された件数。

※2 性に関する犯罪では、被害にあっても、それをまわりに知られるのが恥ずかしかったり、怖かったりして、警察に届けられない人が多くいます。そのため、実際に起きている件数はもっと多いといわれています。

※3 内閣府が実施した「平成20年度犯罪被害者等に関する国民意識調査」調査結果のうち「その他」を除いた割合

※4 法務総合研究所「平成21年版 犯罪白書」のうち「殺人・暴力など」「性に関する犯罪」「交通事故」における割合